

令和3年度空気調和・衛生工学会大会（福島） ワークショップのご案内

ワークショップ①

タイトル 新型コロナウイルス感染対策としての空調・衛生設備の運用

日時 令和3年9月15日(水)13時30分～17時

開催方式 ZoomのWebinarを利用したリアルタイム配信

概要

新型コロナウイルス感染症の集団感染を発生させるリスク要因として、換気の悪い密閉空間が挙げられており、空気感染のリスク低減のために空調・衛生設備の適切な運用による介入の効果に関心が高まっている。本学会では2020年5月に新型コロナウイルス対策特別委員会が設置され、新型コロナウイルス感染症対策における空気調和・衛生設備の運用に関して主に学会ホームページを通じて積極的に発信をしてきた。

本ワークショップでは、2021年4月1日に公表した「新型コロナウイルス感染対策としての空調・衛生設備の運用について」を解説するとともに、公表後の知見をアップデートする。具体的には、これまでに明らかとなっている新型コロナウイルスの特性やクラスター発生事例報告の概要を示した上で、保健医療機関から提示されているガイダンス、欧米の建築設備関連学会の推奨基準などを踏まえて、感染リスクの低減に有効となる建築設備の運用、建物用途別の留意点について今までの知見を報告する。さらにパネルディスカッションにより、今後学会として検討すべき課題について議論する。

ワークショップ②

タイトル 建築設備の凍結・雪対策 計画設計施工に関する動向と避難所のBCP対策

日時 令和3年9月16日(木) 13時10分～16時50分

開催方式 ZoomのWebinarを利用したリアルタイム配信

概要

これまで、本学会は『建築設備の凍結防止計画と実務』や『東北地方の給排水衛生設備と空調設備の凍結対策』を刊行してきた。刊行から10～20年以上が経過し、社会的背景が変化して、凍結技術の進歩や建築の断熱性・気密性向上等を踏まえた計画・設計・施工技術の指針となる出版物の必要性が生じてきた。また、南海トラフ地震に代表されるような大規模災害の発生が予想され、長期間の停電や断水、厳寒季の避難所運営などにも出版物で触れることが求められるようになった。

このような背景と要望から、北海道支部と東北支部で合同の委員会（主査：北海道大学 長野克則）を立ち上げ、『建築設備の凍結・雪対策 計画設計施工の実務の知識』をまとめ、発行した。本ワークショップは、書籍の概要紹介とともに、寒冷地・積雪地の建築設備の計画・設計・施工と、災害時の避難所に対するBCP対策の要点を解説する。